

2023年1月30日

ポート株式会社

(コード番号：7047 東証グロース・福証Q-Board)

対話型AIチャットボット「ChatGPT」を活用した インサイドセールス自動化への検証開始

ポート株式会社（代表取締役社長CEO：春日 博文、所在地：東京都新宿区、以下「当社」）は、オープンAIが提供するChatGPTを活用し、エネルギー領域を中心に、ユーザーの成約率向上に向けて様々な施策の検証を開始することをお知らせいたします。

1. 概要

当社は「世界中に、アタリマエとシアワセを」をミッションに掲げ、社会課題に対して、テクノロジーとマーケティングを活用し、解決していくことを目指し、主に就職領域、リフォーム領域、カードローン領域、エネルギー領域でマッチングDX事業を展開しております。

当社は、ウェブマーケティングによるインターネットメディア運営を通じて、各領域において大量のユーザー母集団を確保し、提携事業者への成約支援に取り組んでいます。そのなかで、成約率向上にChatGPTの活用が貢献する可能性があるかと判断し、検証を開始します。

ChatGPTとは、2022年11月末に米国OpenAIという人工知能研究所が開発した対話式の言語モデルを採用した最新のAIシステムです。自然言語生成モデルと呼ばれるAIで、強化学習によって会話のコツを学習しているため流暢な会話ができることが特徴になります。2022年11月末の公開以来数日でユーザー数が100万人を超え、米国マイクロソフト社もOpenAIに100億ドルの投資を行うと発表されています。

2. 取り組みについて

具体的な当社の取り組みとしては、エネルギー領域において、土日、深夜帯などのユーザーからの問い合わせに、ChatGPTを活用した問い合わせ対応システム（以下本システム）の提供を検証します。

現状では、土日や深夜帯などにユーザーからの電気やガス等を案内についての問い合わせがあった場合には、社内のインサイドセールスの対応が難しいケースがあり、翌営業時間内

での再アプローチをしています。本システムを提供することで、ユーザーからの問い合わせに対して即時の案内が可能になり、対応力が向上することで、見込みユーザーを離脱させることなく、結果として成約率向上に寄与する可能性があると思っております。

また、就職領域において、キャリアコンサルタントがこれまで実施したアドバイスの音声データをテキストとしてChatGPTに学習させ、テキスト型アドバイスサービスを提供することも検討します。

当社は成約率向上にむけてユーザーに対するエネルギー領域のインサイドセールスの対応や、就職領域のキャリアコンサルティングの対応の音声データを保管していることから、これらのデータをテキスト化、学習データ化することで、ChatGPTの精度を常に向上させる体制が作りやすいことから親和性が高いものと認識しております。

3. 今後の見通し

当社のビジネスモデル上、成約率の向上は原価が上昇することなく生産性が向上するため利益率の改善に直接的な寄与が期待できます。

今後も様々なAIサービス、オープンサービスが出てくることが見込まれますが、様々な手法を検証し、データ・ドリブン型の成約支援オペレーションを構築していきます。

なお、本件による当社業績への影響につきましては、現時点では軽微と見込んでおりますが、今後の進捗状況により必要に応じて公表して参ります。

4. 会社概要

会社名 : ポート株式会社

所在地 : 東京都新宿区北新宿2-21-1 新宿フロントタワー5階

代表者 : 代表取締役社長CEO 春日博文

設立 : 2011年4月

資本金 : 941百万円 (2022年9月末時点)

URL : <https://www.theport.jp/>

■本件に関するお問い合わせ

ポート株式会社 広報IR担当

コーポレートサイト : <https://www.theport.jp/>

E-mail : pr@theport.jp TEL : 03-5937-6731